

## 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件

### 平成27年度事業報告（総括）

昨年の2期生の応募状況からの反省を踏まえて、3期生の募集に当たっては27年度に入る前の3月から募集委員会を立ち上げその対応に当り、募集開始も10月から次の基本構想のもと各部門と連携し精力的に募集活動を進めた。

- ◆ 当カレッジの支柱となる「地域福祉を学ぶ科」を政策的学科と位置づけ受講料を減額しての開講。
- ◆ 新たに1年制の学科も導入して、新規学科（歴史のロマンと謎に迫る科、カメラ・フォトグラフ科、アウトドアを楽しむ科、音楽を楽しく学ぶ科）4教室を含めて「8学科8教室」に拡充。
- ◆ 地域バランスを考慮して豊中に4学科設置。

その結果、「自然とものづくりを楽しむ科」が定員を下回ったため、カリキュラムを見直して1年制としてスタートしたのをはじめ、「アウトドアを楽しむ科」「音楽を楽しく学ぶ科」においても定員未達となり苦しい運営を余儀なくされることとなった。

しかし、事業部において「公開講座等」各種事業の実施で、収益確保が実行できたことは運営上大きな支えとなった。

また、28年度4期生の募集においても未達の学科があり、健全財政を目指していく上には各学科の定員確保が最優先であるところから、28年度においてはこの点を重点的に討議検討すべきと考えられる。

◇教務部においては、講座運営の円滑な推進・充実と適確且つ敏速な対応をとるため、東・西の2ブロック制を取り入れそれぞれに担当地域教務を置き、体制づくりを行った。また、地元大学（立命館大学）との提携授業の拡充を行った。

なお、2期生「健康づくりと福祉を学ぶ科」の19名が大阪府福祉部高齢介護室担当官より「シルバーアドバイザー」の認定証を授与された。

また、会場を茨木市クリエイティブセンターから吹田市のメイシアターに移して開催した「第2回ONCCふれあい交流祭」は、会場の関係で発表準備から最後の撤収まで1日で行うことになったが、クラス代表者会議による実行委員会の立ち上げにより数回の各部会での検討、調整が実を結び成功裏に実施された。

受講生の間では各学科が一堂に会しての交流の場ができてよかった、先輩方の発表が見れたり、交流ができたのは大変よかったとの感想であった。

一方、もう少し地元やその他の地域からの参加者があるようPRすればなお良かったとの声もあり次回の課題となった。

◇事務局においては、「地域密着型」のカレッジを北摂の各地域で運営していくためにも、また、阪急京都線、宝塚線を有効に利用して受講生の便を図るためにも欠かせない拠点として茨木事務所と豊中事務所の2カ所体制をとった。今後茨木市並びに豊中

市の行政との緊密な活動を援護していくうえで、より重要な拠点としてそれぞれの特性を生かした事務所運営ができるものと確信している。

年度制講座を運営していくうえで、学科内容が重要であることは当然であるが、学科開講で公共施設の確保がどれほど大きな収益確保に繋がるかが講座運営に直接関連するところから、茨木市・豊中市の公共施設が利用出来たことは幸いであった。

◇募集委員会は、通算 21 回の委員会を開催しながら活動し、大阪府・北摂関係市町および社会福祉協議会、高大同窓会、SA 関係団体に対して後援名義と広報誌掲載の依頼を実施。大学提携授業では新たに立命館大学との後援名義と提携授業の依頼をして承認された。

また、「募集要項」の配布活動を例年通り各市町役所、各公共施設、関係地域同窓会、SA 地区会等に配布 PR を依頼、その他「ホームページ」「講座説明会」千里中央コラボでの展示コーナー開設などで PR したほか、特に本年度は北摂東部の一部を重点に、新聞チラシ折り込み、ポスティング等による PR を展開したが結果的には上記の通り定員未達の学科が多く、総員 346 名は昨年を僅かに上回ったにとどまった。

◇事業部では、財政運営の安定的な基盤づくりに寄与する各種事業の展開を優先に、併せて社会活動の一環としての「福祉事業（助成金事業等）」などを推進した。その結果全体としては計画通り実施して予算収益も達成することができた。

◇広報部においては、「ホームページ」の運用と拡充を行うとともに、第 4 期生募集の広報資料（4 期生募集の速報版）「募集要項」の作成、「ONCC NEWS」No. 4, 5, 6 号の発行を行った。

◇渉外部では、行政、社協や同窓会など各関係団体の後援名義の依頼や実績報告の提出並びに募集要項の配布依頼など精力的に努めた。また、各学科の教室と会議室確保に万全を期してきた。

更に、年度末には受講生の卒業後の活動についての相談や起業への準備相談に応じるため、茨木・豊中両事務所に「相談窓口」を設けて渉外部が担当することになった。

◇最後に、カレッジ設立以来理事として活躍頂いた 4 名の方が病気療養または、遠方転出のため退任されることになりました。ここにそのご活躍に対し感謝の意を表するとともに早い回復をお祈り申し上げたいと思います。

なお、28 年度より 5 名の方々が新たに理事候補して推薦されておられます。どうか今後のご活躍を期待いたしております。

以上